



《共通事項》

◆ 定期的なかん水について

晴天が5～6日(砂を含む土は4日)続いたら20～30mm程度のかん水を行なう。
10aに1mmのかん水をするには水1,000ℓが必要です。樹冠下に集中して行う。

《ブルー・すもも》

◆ 第13回薬剤散布について(お盆前後に収穫になる品種以降)

1. 散布時期:8月3日(土)～8月7日(水)

実際散布日記入 月 日

2. 調合量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

※収穫中の品種に飛散しないよう十分注意する。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
(展着剤まくぴか)	10mℓ	—	—
(オーシャインフロアブル)	33mℓ	灰星病	前日
アーデントフロアブル	50mℓ	シンクイムシ類	前日

3. 散布量:10a当り⇒400ℓ

4. 留意事項

- ①果実の汚れを防ぐため、なるべく細霧にして、すぐに乾く時間帯で散布する。
- ②降雨が多い場合は、灰星病が多かった場合は、オーシャインフロアブルを加用散布する。
- ③収穫直前になる品種がある場合は、今回の薬剤散布を「収穫前薬剤散布」としてもよい。
ただし、必ず殺菌剤として、上記オーシャインフロアブルを加用散布する。
- ④オーシャインフロアブルに代えて、アンビルフロアブル1,000倍(水100ℓ当り100mℓ/収穫前日)を使用してもよい。
- ⑤シンクイムシ類・灰星病の発生が多く薬液をしっかりと付着させたい場合は、展着剤を「まくぴか」10,000倍(水100ℓ当り10mℓ)を使用すると、均一に付着しやすくなり乾きが早まるため、液だまりが減少する。

◆ 収穫前薬剤散布について ※収穫直前の品種に行う。

収穫前の降雨によっては、腐敗果の発生が増加するため、特に収穫前の防除を徹底する。

1. 散布時期:収穫開始2日前

実際散布日記入 月 日

2. 調合量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
オンリーワンフロアブル	50mℓ	灰星病	前日
(Ⓜスカウトフロアブル)	50mℓ	シンクイムシ類	前日

3. 散布量:10a当り⇒350ℓ

4. 留意事項

- ①「収穫前日まで」となっている農薬は、収穫24時間前までに散布が終了する事を意味する。
- ②シンクイムシ類の発生が心配される園は、スカウトフロアブル2,000倍を加用散布する。スカウトフロアブルに代えて、ディアナWDG5,000倍(水100ℓ当り20g/収穫前日)を使用してもよい。

◆中晩生種の収穫及び出荷講習会開催について

下記日程により、開催致しますので、ご参加下さい

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
8月 8日	木	午前10:30	西部流通センター	徳武。寺澤
		午前11:00	川中島共選所	松橋
		午後 2:00	若穂果実流通センター	松沢

※更北地区は、地区担当果樹技術員まで。

※講習会以降が出荷始めではありません。**適熟になったものは、講習会以前でも荷受致します。**
また、未熟な場合は、適熟になってからご出荷下さい。

◆プルーン出荷上の留意点について

下記内容の問題点が毎年出ている。出荷時に注意して下さい。

- ①農薬による汚れのある果実が見られるのでふきとって出荷する。
- ②果実にシンクイムシ、灰星病のものが散見される。⇒ 厳正に荷造りし混入しない
- ③過熟果・未熟果の出荷がある。(農家間の差が意外と大きい)
- ④玉の大きさにムラがある。(同じ大きさに420g以上になるように詰める)
- ⑤パック重不足がある。 ⑥異品種の混入がある。 ⑦返品されたものを取りに来ない方がいる。

◆スモモヒメシンクイの対策の徹底について《重要》

スモモヒメシンクイが食入する時期のため、園をまわって樹上や樹冠下の被害果の処分に当たる。

1. 薬剤防除・耕種的防除

- ①定期防除は、期日を守りムラなく散布し、量をしっかりと掛ける。
- ②園内をこまめに巡回し、樹上の被害果・落果した被害果の被害果をすべて見つけ処分する。

2. 処分方法

- ①被害果を園外に持ち出し、7日以上水漬けし果実中の幼虫を殺す。
- ②土中に埋める場合は50cm以上深く埋める。浅いと羽化し再び発生するので注意する。
- ③厚い肥料袋等に被害果を入れ、羽化成虫が外に飛び出さないよう口を固く結ぶ。レジ袋等不可。
- ④放任園や自家用で、防除しないプルーン・すもも等の発生源を伐採してもらう。

3. 被害果の特徴

- ①アメをだす。 ②果面に地図を描く。 ③果面が黄色や紫色に変色する。 ④落果している。

《あんず》

◆コスカシバ対策について

杏の場合は、6～10月まではっきりしたコスカシバの最盛期がなく、被害樹は樹勢が弱まったり胴枯病が発生しやすくなる。樹脂と虫糞の混ざっている箇所を削り補殺するか、木づちで叩いてつぶす。(雨上がりが良い)

《なし》

◆当面の管理について

1. 南水栽培園は、防鳥ネットの設置を行う。(収穫1ヶ月前)

◆第11回薬剤散布について

1. 散布時期:8月4日(日)～8日(木) 実際散布日記入 月 日
2. 調 合 量:水100ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
コロマイト乳剤	100mℓ	ハダニ類	前日
エクシレルSE	20g	シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日
キノンドー顆粒水和剤	100g	黒斑病・輪紋病	3日前

3. 散 布 量:10a当り⇒棚栽培450ℓ/立木栽培500ℓ以上
4. 留意事項
①エクシレルSEに代えて、サムコルフロアブル10の2,500倍(水100ℓ当り40mℓ)を使用してもよい。

◆なし栽培日誌の提出について

梨(日本・西洋なし)の出荷予定者は、栽培日誌を配布致しますので、下記期日までに提出下さい。

1. 提出期限:8月13日(火)まで
2. 提出場所:直接個人で各流通センター・共選所まで
3. 留意事項
①梨の場合は、**有袋栽培用と無袋栽培用が別の用紙(収穫前基準が異なるため)**となりますのでご注意ください。
②第11回防除まで記入下さい。漏れ・不備のないように記入下さい。
③栽培日誌をチェックし、法的に問題がある場合は販売できません。
④提出されず出荷された場合は、安全性が確認出来ないので荷受できません。

《オウトウ》

◆第7回薬剤散布について

1. 散布時期:8月上旬 実際散布日記入 月 日
2. 調 合 量:水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
トレノックスフロアブル	200mℓ	褐色せん孔病	21日前
Ⓜダイアジノン水和剤34	100g	カイガラムシ類	14日前

3. 散 布 量:10a当り⇒500ℓ
4. 留意事項
①ダイアジノン水和剤に代えて、サイアノックス水和剤1,000倍(水100ℓ当り100mℓ)を使用してもよい。
①ハダニ発生が目立つ場合は、ダニゲッターフロアブル2,000倍(水100ℓ当り50mℓ)を加用散布する。
なお、開花中の水稻に飛散すると不稔になるため、農薬飛散に十分注意し、使用する。